

エコアクション21

環境経営レポート



2023年度

令和5年4月1日～令和6年3月31日

*決算期変更の為、R3.8.1～R4.3.31を令和4年度としR4.4.1～R5.3.31を2022年度とする。

発行年月日 2024年 6月 24日



株式会社福山組
〒806-0031
北九州市八幡西区熊西1-8-37
TEL.093-641-0529
FAX.093-641-5329



100
おかげさまで
周年

ANNIVERSARY

目 次

1	目次	1
2	環境経営方針	2
3	組織の概要	3
4	組織図及び認証・登録範囲	4
5	環境経営目標	5
6	環境経営計画の主要内容	6
7	環境経営取組結果の評価	7
8	次年度の活動計画の内容	8
9	環境関連法規への違反、訴訟等の有無	9
10	代表者のコメント	9

環境経営方針

【基本理念】

株式会社福山組は、「持続可能な社会」の実現を図るために、全社員が地球環境問題を自覚し、積極的な環境への取組みを行います。

【行動指針】

環境マネジメントシステムを有効にし、環境に関する法規等を遵守し、環境負荷の低減に努めるために、環境経営方針を全社員に周知徹底させ、環境経営の継続的改善を実施します。

1. 電力使用量削減、自動車用ガソリンの削減により、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
2. 紙資源のリサイクル・使用量の削減に努めます。
3. 水道使用量の削減に努めます。
4. 廃棄物の削減に努めます。
5. グリーン購入に努めます。
6. 新しいまちづくりを通じて環境保全に努めます。
7. 環境方針を、全社員に周知するとともに、広く公開します。

改定日 令和4年2月22日

制定日 平成23年9月21日

株式会社 福山組

代表取締役 福山 岳彦

3 組織の概要

1 社名 株式会社 福山組
代表取締役 福山岳彦

2 所在地 本社 〒806-0031
北九州市八幡西区熊西1丁目8番37号
Tel 093(641)0529
Fax 093(641)5329
Mail team-fukuyama@chime.ocn.ne.jp
URL //www.team-f.jp/

3 事業内容 建設業許可番号 知事許可 (特-4)第93869号
一級建築士事務所 知事登録 第1-20553号
建設業の種類 建築工事業 土木工事業 とび・土工工事業 舗装工事業
水道施設工事業 解体工事業

4 環境管理責任者 代表取締役 福山岳彦
連絡担当者 Tel 093(641)0529

5 事業概要 創業年月日 大正7年3月1日

資本金 4500万円

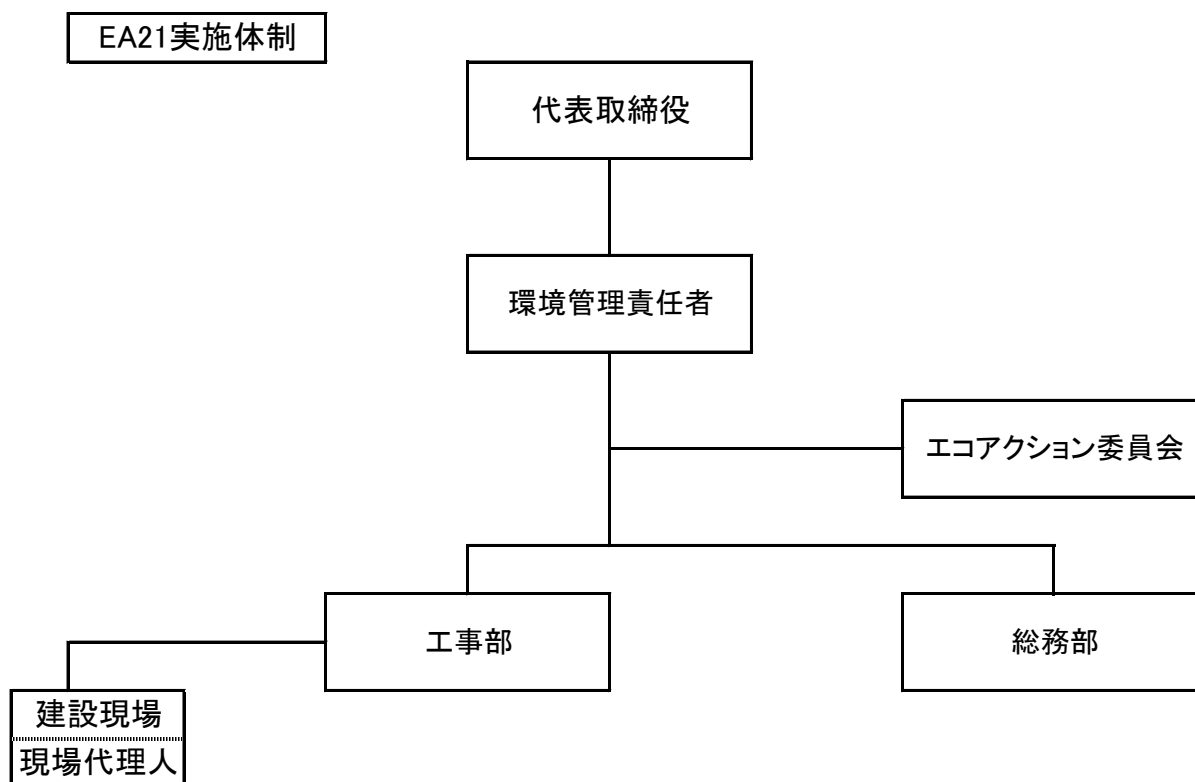
社員数 14名

事業年度 4月1日～3月31日

*決算期変更の為、R3.8.1～R4.3.31を令和4年度としR4.4.1～R5.3.31を2022年度とする。

活動規模	単位	R4年	2022年	2023年
売上高	百万円	811	1,382	1,048
従業員	人	14	14	14
事務所床面積	m ²	552	552	552

4 組織図及び認証・登録範囲



役割分担表

所属	役割・責任・権限・使命
代表取締役	環境方針の策定、全体管理、代表者による全体の評価と見直し。
環境管理責任者	環境マネジメントシステムを構築・運用し、代表取締役に報告。
エコアクション委員会	文書・記録管理、システムの運用状況を検証。(3ヶ月に1度開催する)
工事部	建設現場での環境マネジメント運用、協力業者指導。
総務部	本社での環境マネジメントシステム運用。

※認証・登録範囲は全社・全事業活動になります。

5. 環境経営目標(2023年度)

*決算期変更の為、R3.8.1～R4.3.31を令和4年度としR4.4.1～R5.3.31を2022年度とする。

事務所(本社・化学事務所《三菱ケミカル構内横事務所》)

	環境目標	単位	2022年度	平成30年度 (基準年度)	2022年度目標	2023年度目標
1	二酸化炭素排出量	kg-CO2	35,862.7	29,887.2	40,000	40,000
	1 電力使用量	kWh	11,247.0	15,811	13,000	13,000
	2 灯油使用量	ℓ	0.0	0	100	100
	3 ガソリン使用量	ℓ	6,970.0	6,491.5	8,000	8,000
2	一般廃棄物排出量	T	93袋	7.8	100袋	100袋
3	総排水量	m ³	95.2	120	100	100

※ 二酸化炭素排出係数は、九州電力の調整後の排出係数 0.347kg-CO2/kWh(H30年度)を使用

※ 二酸化炭素排出量は、当社の建設現場を含む全排出量を表す。

※ 化学物質は当社において使用しない。

建設現場

	環境目標	単位	2022年度	平成30年度 (基準年度)	2022年度目標	2023年度目標
1	電力使用量	kWh	10,645	13,126	13,126	13,126
2	産業廃棄物排出量の削減		廃棄物管理票(マニフェスト)の適正な処理を確認し、リサイクルに取り組む。			
3	排水量の低減		節水活動の推進。			
4	建設騒音・振動の防止		騒音・振動に対するクレームゼロ。(低騒音型・低振動型建設機械の使用)			
5	工事現場の環境保全		工事現場の定期清掃回数(1ヶ月に1回)			

※建設現場は年度によって受注量変動するので、電気使用量以外は数値目標ではなく環境活動为目标とする。

環境経営目標(令和4年度～2025年度)

事務所(本社・化学事務所《三菱ケミカル構内横事務所》)

	環境目標	単位	2023年度実績	令和4年度目標	2022年度目標	2023年度目標	2024年度目標	2025年度目標
1	二酸化炭素排出量	kg-CO2	29,558	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
	1 電力使用量	kWh	16,184	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
	2 灯油使用量	ℓ	0	100	100	100	100	100
	3 ガソリン使用量	ℓ	6,911	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
2	一般廃棄物排出量	袋	118	100	100	100	100	100
3	総排水量	m ³	93	100	100	100	100	100

※ 二酸化炭素排出係数は、九州電力の調整後の排出係数 0.347kg-CO2/kWh(H30年度)を使用

※ 二酸化炭素排出量は、当社の建設現場を含む全排出量を表す。

※ 一般廃棄物排出量は、前回の審査より袋の単位で管理するように決めた。

※ 化学物質は当社において使用しない

建設現場

	環境目標	単位	2023年度実績	令和4年度目標	2022年度目標	2023年度目標	2024年度目標	2025年度目標
1	電力使用量	kWh	14,264	13,126	39,000	39,000	39,000	39,000
2	産業廃棄物排出量の削減		廃棄物管理票(マニフェスト)の適正な処理を確認し、リサイクルに取り組む。					
3	排水量の低減		節水活動の推進。					
4	建設騒音・振動の防止		騒音・振動に対するクレームゼロ。(近隣住民とのコミュニケーション)					
5	工事現場の環境保全		工事現場の定期清掃回数(1ヶ月に1回)					

※建設現場は年度によって受注量変動するので、電気使用量以外は数値目標ではなく環境活動为目标とする。

6 環境経営計画の主要内容

2023年度 環境経営計画(建設業・全社編)

①二酸化炭素排出量の削減

取組目標		活動項目	責任者	担当	活動計画			
					4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	電気使用量の削減	1 エアコンの使用を極力控え、設定温度(冷房28℃・暖房22℃)を決め実行	社長	福山	通年実行	→	→	→
		2 昼休み時の不要な照明の消灯			通年実行	→	→	→
		3 残業時の不要な照明の消灯			通年実行	→	→	→
		4 長時間席を離れる時は、パソコンの電源を切る			通年実行	→	→	→
2	ガソリン使用量の削減	1 アイドリングストップの励行	社長	福山	通年実行	→	→	→
		2 法定速度の厳守でエコドライブ(急発進・急加速・急停車)の励行			通年実行	→	→	→
		3 定期的にタイヤの空気圧の点検し、適正空気圧を保つ			通年実行	→	→	→

②産業廃棄物排出量の削減

取組目標		活動項目	責任者	担当	活動計画			
					4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	紙使用量の削減	1 裏紙を使用しコピー用紙の削減	社長	福山	通年実行	→	→	→
		2 印刷前のプレビュー等で確認し、印刷ミスの削減			通年実行	→	→	→
2	リサイクルの推進	1 紙回収のリサイクルを徹底(回収業者へ出す)	社長	福山	通年実行	→	→	→
		2 分別収集の徹底			通年実行	→	→	→

③排水量の低減

取組目標		活動項目	責任者	担当	活動計画			
					4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	節水活動	1 まとめ洗いを心がけ、出しっぱなしにしない	社長	福山	通年実行	→	→	→
		2 各車両の洗車は必要最低限にする			通年実行	→	→	→

④建設騒音・振動の防止

取組目標		活動項目	責任者	担当	活動計画			
					4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	建設騒音・振動の防止	騒音・振動に対するクレームゼロ。(近隣住民とのコミュニケーション)	工事部	山下	通年実行	→	→	→

⑤工事現場の環境保全

取組目標		活動項目	責任者	担当	活動計画			
					4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	環境保全	工事現場の定期清掃回数(1か月に1回)	工事部	山下	通年実行	→	→	→
2	パトロール	環境保全も検証する	社長	福山	通年実行	→	→	→

7. 環境経営取組結果の評価

*決算期変更の為、R3.8.1～R4.3.31を令和4年度としR4.4.1～R5.3.31を2022年度とする。

事務所(本社・化学事務所《三菱ケミカル構内横事務所》)

	環境目標	単位	平成30年度 (基準年度)	2023年度目標	2023年度実績	目標達成の判定	
1	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	29,887.2	40,000	29,557.6	○	73.9%
	1 電力使用量	kWh	15,811	13,000	16,814	×	129.3%
	2 灯油使用量	ℓ	0	100	0	○	0.0%
	3 ガソリン使用量	ℓ	6,491.5	8,000	6,911.0	○	86.4%
2	一般廃棄物排出量	T	7.8	100袋	118袋	×	118.0%
3	総排水量	m ³	120	100	93.0	○	93.0%

※ 二酸化炭素排出係数は、九州電力の調整後の排出係数 0.347kg-CO₂/kWh(H30年度)を使用

※ 事務所の二酸化炭素排出量は、当社の建設現場を含む全排出量を表す。

※ 一般廃棄物排出量は、前回の審査より袋の単位で管理するように決めた。

建設現場

	環境目標	単位	平成30年度 (基準年度)	2023年度目標	2023年度実績	目標達成の判定	
1	電力使用量	kWh	13,126	13,126以下	14,264	×	108.7%
2	産業廃棄物排出量の削減	廃棄物管理票(マニフェスト)の適正な処理を確認し、リサイクルに取り組む。				○	
3	排水量の低減	節水活動の推進。				○	
4	建設騒音・振動の防止	騒音・振動に対するクレームゼロ。(近隣住民とのコミュニケーション)				○	
5	工事現場の環境保全	工事現場の定期清掃回数(1ヶ月に1回)				○	

※建設現場は年度によって受注量変動するので、電気使用量以外は数値目標ではなく環境活動为目标とする。

① 二酸化炭素排出量の削減

電気使用量は目標に対して事務所129.3%(前年度86.5%)、現場108.7%(前年度81.1%)であった。昨年に比べ、事務所、建設現場共に増加となった。

灯油使用量は0で、使用しなかった。

ガソリン使用量は目標に対して86.4%で達成。

結果として二酸化炭素排出量は、目標に対して76.1%で目標を下回った。

② 産業廃棄物排出量の削減

一般廃棄物は収集方法が変わり、重さではなく「袋」の単位で管理する。今年度は目標に対して118%となった。

③ 排水量の低減

目標に対して93.0%と達成、前年度の95.2%からさらに改善された。

④ 建設騒音・振動の防止

低騒音型・低振動型建設機械の使用し、騒音・振動に対するクレームなし。

⑤ 工事現場の環境保全

工事現場の定期清掃回数(1ヶ月に1回)、各現場で実施、継続して行う。

パトロールでも環境保全についても検証している。

※過去5か年の主な数値は以下の通りです。

	R2.7 (令和2年度)	R3.7 (令和3年度)	R4.3調整値 (令和4年度)	2023.3 (2022年度)	2024.3 (2023年度)	単位
二酸化炭素排出量	25,637.6	23,600.6	61,573.0	35,862.7	29,557.6	Kg-CO ₂
電力						
本社	13,847.0	11,736.0	12,958.5	11,247.0	16,814.0	kwh
現場	13,125.0	848.0	20,645.0	10,645.0	14,264.0	kwh
灯油						
本社	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	L
現場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	L
ガソリン	6,829.9	8,260.4	8,400.2	6,970.0	6,911.0	L
一般廃棄物(本社)	39.5	0.070	130.5袋	93袋	118袋	T
産業廃棄物(紙以外)	742.2	1,542.0	338.7	1,206.0	615.6	kg

※産業廃棄物は合計から紙くずを引いた量(特管は含まず)

8 次年度の活動計画の内容

2024年度 環境経営計画(建設業・全社編)

①二酸化炭素排出量の削減 ー令和1年度実績の42,444kg-CO₂を下回るように、40,000kg-CO₂を目標とする。

取組目標	活動項目	責任者	担当	活動計画			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1 電気使用量の削減	1 エアコンの使用を極力控え、設定温度(冷房28℃・暖房22℃)を決め実行	社長	福山	通年実行	→	→	→
	2 昼休み時の不要な照明の消灯			通年実行	→	→	→
	3 残業時の不要な照明の消灯			通年実行	→	→	→
	4 長時間席を離れる時は、パソコンの電源を切る			通年実行	→	→	→
2 ガソリン使用量の削減	1 アイドリングストップの励行	社長	福山	通年実行	→	→	→
	2 法定速度の厳守でエコドライブ(急発進・急加速・急停車)の励行			通年実行	→	→	→
	3 定期的にタイヤの空気圧の点検し、適正空気圧を保つ			通年実行	→	→	→
3 都市ガス使用量の削減	給湯器の効率使用	社長	福山	通年実行	→	→	→

②産業廃棄物排出量の削減 ー一般廃棄物100袋以下を目標とする。

取組目標	活動項目	責任者	担当	活動計画			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1 紙使用量の削減	1 裏紙または両面を使用しコピー用紙の削減	社長	福山	通年実行	→	→	→
	2 印刷前のプレビュー等で確認し、印刷ミスの削減			通年実行	→	→	→
	3 複合機利用によるFAX用紙の削減、スキャナー保存			通年実行	→	→	→
2 リサイクルの推進	1 紙回収のリサイクルを徹底(回収業者へ出す)	社長	福山	通年実行	→	→	→
	2 分別収集の徹底			通年実行	→	→	→

③排水量の低減 ー総排水量100m³以下を目標とする。

取組目標	活動項目	責任者	担当	活動計画			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1 節水活動	1 まとめ洗いを心がけ、出しっぱなしにしない	社長	福山	通年実行	→	→	→
	2 各車両の洗車は必要最低限にする			通年実行	→	→	→
	3 節水型トイレの導入と小の時は小の流量で流す。			通年実行	→	→	→

④建設騒音・振動の防止 ークレーム0を目標とする。

取組目標	活動項目	責任者	担当	活動計画			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1 建設騒音・振動の防止	騒音・振動に対するクレームゼロ。(近隣住民とのコミュニケーション)	工事部	山下	通年実行	→	→	→

⑤工事現場の環境保全 ー工事現場の環境保全

取組目標	活動項目	責任者	担当	活動計画			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1 環境保全	工事現場の定期清掃回数(1か月に1回)	工事部	山下	通年実行	→	→	→
2 パトロール	安全パトロール時に環境保全も検証する。	社長	福山	通年実行	→	→	→

9 環境関連法規への違反、訴訟の有無

当事業所に適応される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反等はありませんでした。
また、関係機関等からの指摘事項及び利害関係者からの訴訟もありませんでした。

法令名	順守状況・判定
廃棄物処理法	○
資源有効利用促進法	○
建設リサイクル法	○
排出ガス対策型建設機械普及促進規定	○
学校環境衛生の基準	○
建築基準法	○
騒音規制法	○
振動規制法	○
消防法	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	○

10 代表者のコメント

○評価

二酸化炭素排出量は、目標の40,000kg-CO₂に対して29,557.6kg-CO₂と目標は達成できた。

しかし、個別には、電力使用量が、事務所目標13,000kWhに対して、16,814kWhと129.3%、
建設現場目標13,126kWhに対して、14,264kWhと108.7%の数字となった。

建設現場は規模、場所など個別の条件でコントロールできにくい面があるが、事務所は
要因として、夏場、冬場の負荷が高い傾向と残業増により電力消費量が増えている。

本年四月より働き方改革の一環として、4週6休から4週8休に変更し月2日の休みが増えるが、
電力使用量においても削減効果を期待する。また同様に時間外労働の上限規制が始まり
残業時間減により、電力使用量の削減を期待する。

このように働き方、休日増などの制度改革により、結果として電力使用量、二酸化炭素排出を
削減することも必要なことだと実感している。

株式会社 福山組
代表取締役 福山 岳彦